

# ソーシャルマーケティングを 利用した検診受診率の向上

看護情報学特論 I

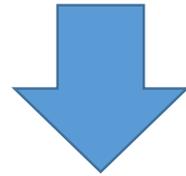
2016. 6. 30

# ソーシャルマーケティングとは？

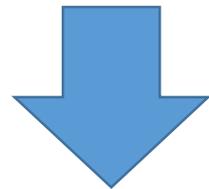
個別の企業や消費者のためにではなく、広く社会の利益を拡大するという立場に立って社会問題を解決するために行われるマーケティング活動のことである。

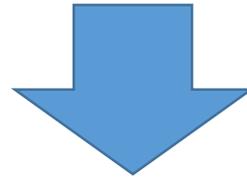
# ソーシャルマーケティングの歴史

1980年代 公衆衛生活動の焦点が個人や小集団に対する健康教育に向けられていた



- ①介入できる人数に制限があること
- ②いつも同じような人ばかりが参加すること
- ③投下できる社会資源に限りがある状況下では非効率的であること





地域全体の健康を改善するためには、個人や小集団に向けられた焦点を、地域あるいは社会全体にむける必要性が認識され始めたものの、効果的かつ効率的に人々の意識や行動を変えるために、どのような考え方や手法に基づくべきか、ほとんど知られていなかった。



ビジネスの世界で用いられてきた「マーケティング」という考え方や手法を応用することの有用性が、1970年代に行われたStanford Three-Community StudyやThe National High Blood Pressure Education Programといった大規模地域介入研究の知見から、公衆衛生関係者の間で認識されるようになりました。

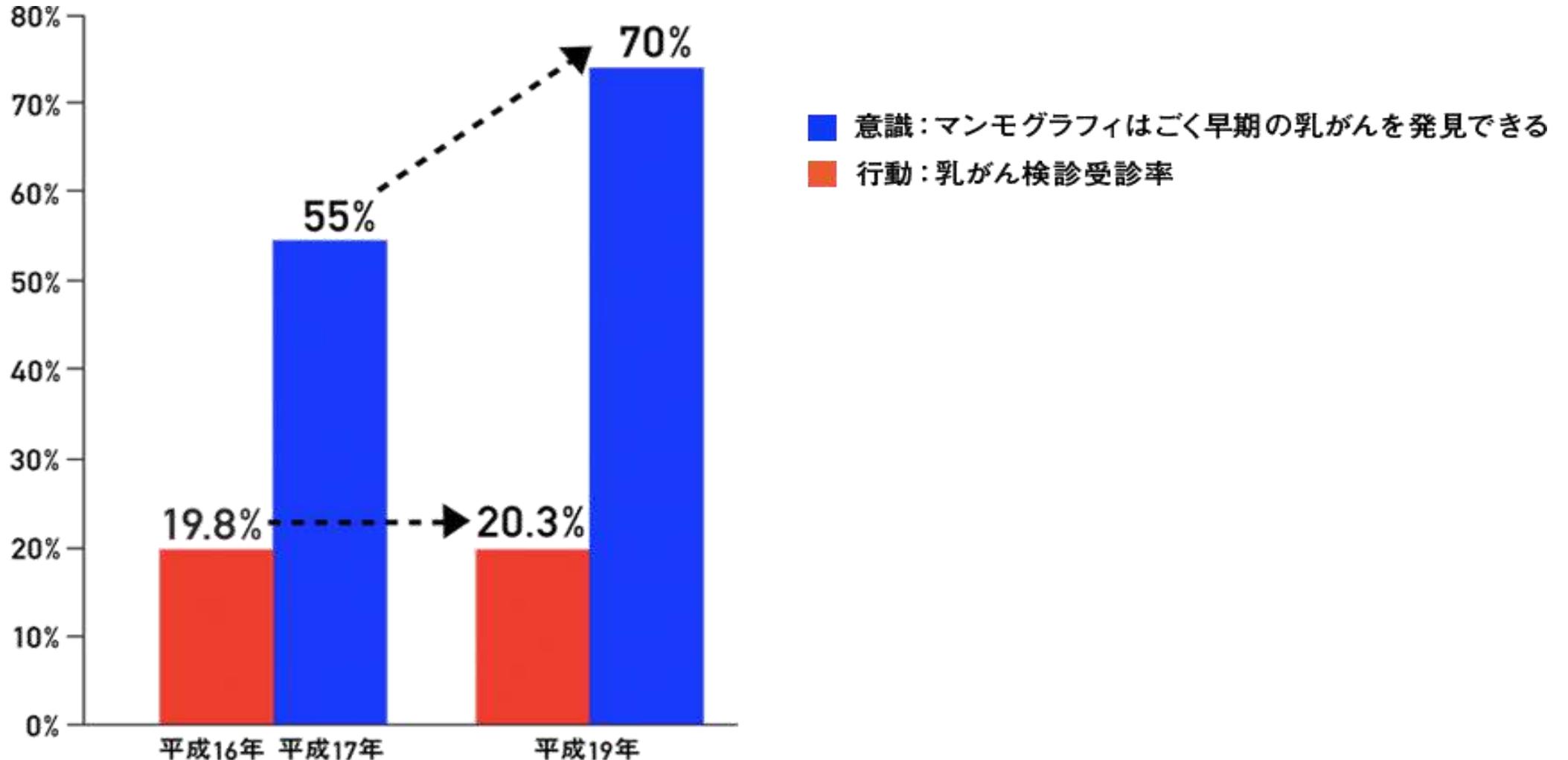
# ピンクリボンキャンペーン

## がん検診認知度アップ

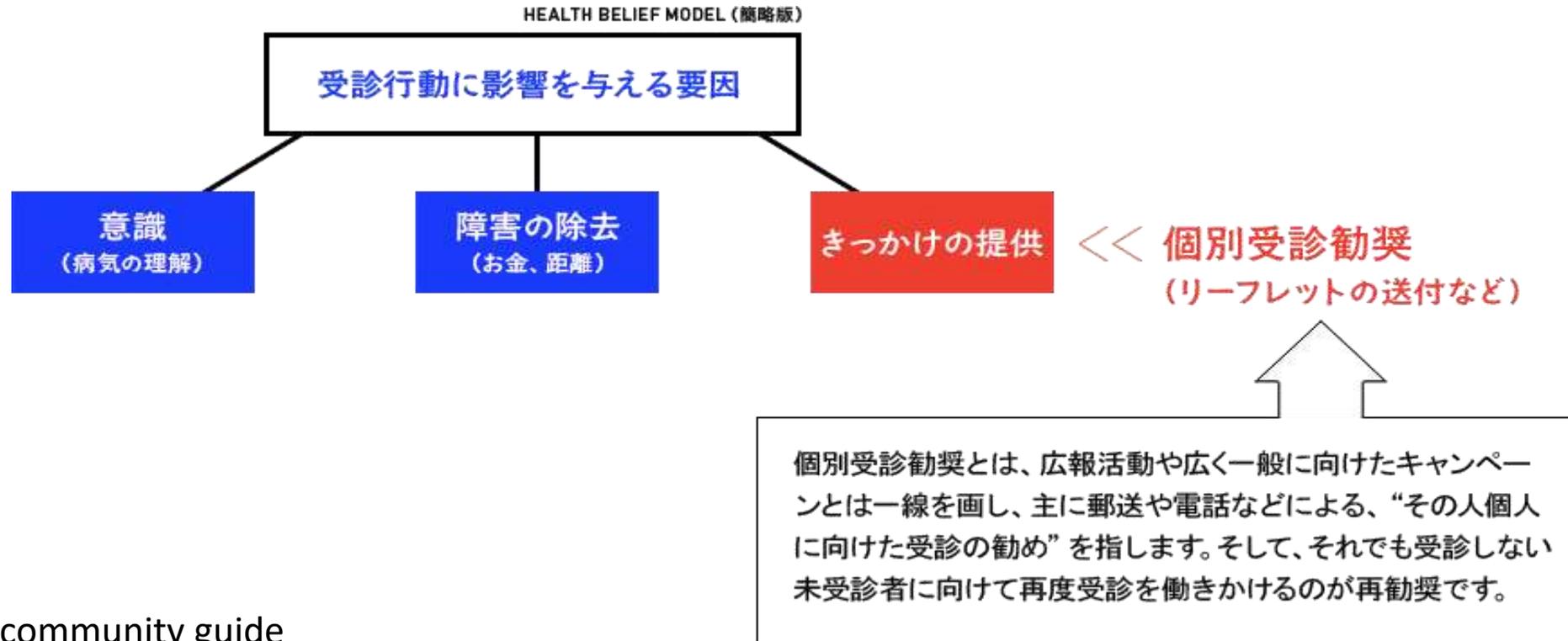
Pink Ribbon  
Campaign



# 意識(有用性)があがってもがん検診の受診率は上がらない



# 米国疾病管理センターによれば、個別受診勧奨・再勧奨（コール・リコール）は各がん検診において効果が確認されている



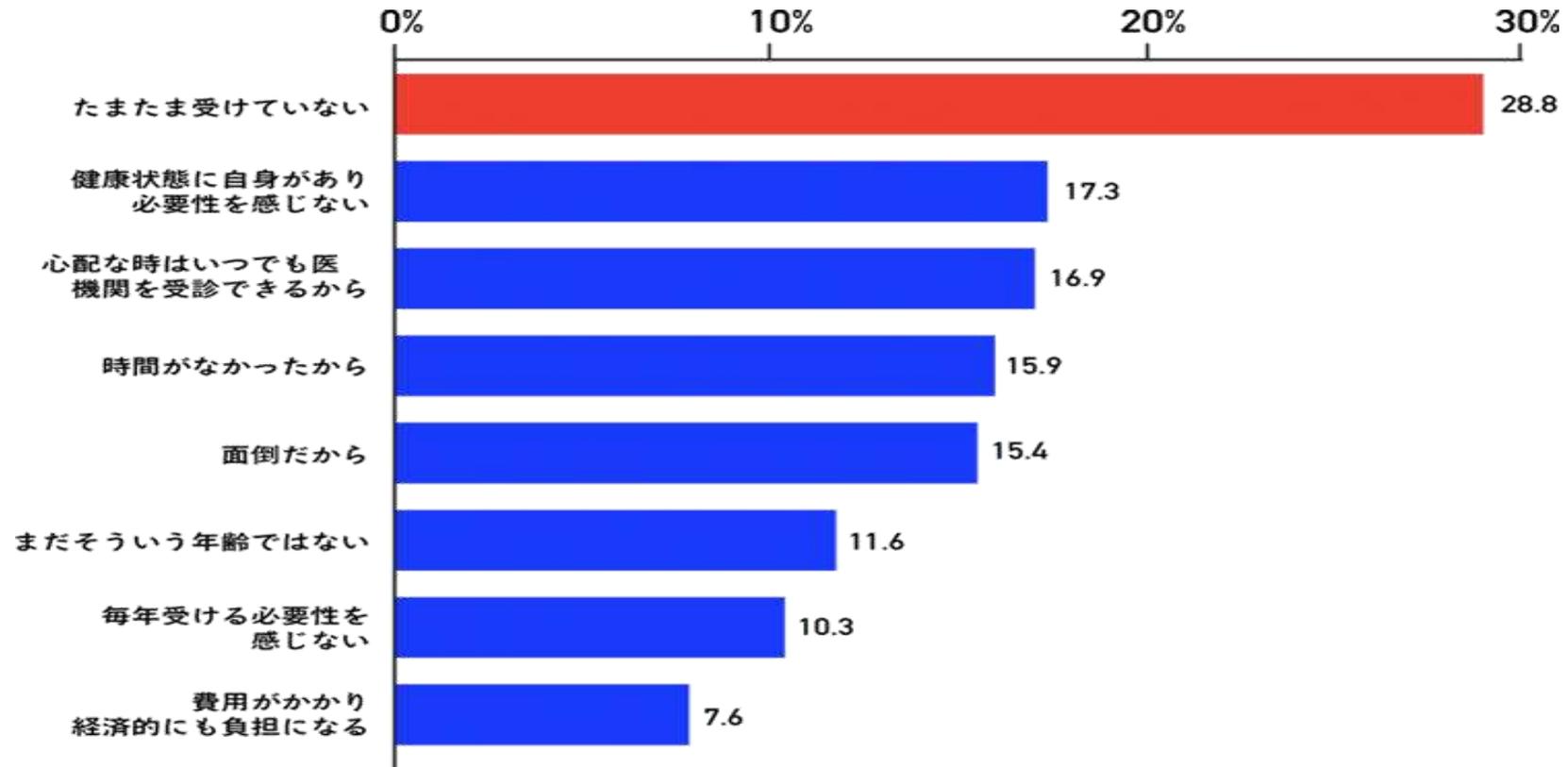
出典: CDC community guide

<http://www.thecommunityguide.org/cancer/screening/client-oriented/index.html>

# しかし、日本の市区町村の多くですでに受診勧奨は行われているにもかかわらず、受診率はあまり上がらない。なぜ？

個別勧奨の手法	実施している市区町村の割合
個別通知(郵送)	48パーセント
個別通知(電話)	4パーセント
世帯主あてに通知(郵送)	25パーセント
個別訪問(自治体職員)	5パーセント
個別訪問(ボランティア等)	12パーセント
上記のうち何らかを実施	57パーセント

# がん検診を受けていない理由



# このチラシ(現状の勧奨資材)を見ても受けない人が多く存在する

## 乳がん検診のご案内

杉並区では40歳以上(年度末現在)の女性で検診機会のない方を対象に乳がん検診を実施しています。

乳がん検診を受けることで早期発見し、乳がんによる死亡を防ぐことができます。2年に1回は杉並区乳がん検診をご利用いただけますので、ぜひ、この機会に受診してください。

なお、勤務先等において同様の検診機会のある方は、この受診をご遠慮ください。

### <マンモグラフィによる検診を受けましょう。>

杉並区の乳がん検診は、マンモグラフィ検査と視触診検査の併用法で行います。

マンモグラフィとは、乳房専用のX線撮影のことです。

撮影は、立体的で厚い乳房を正しく撮影するために圧迫板で圧迫し、乳房を薄くひきのばして撮影いたします。

これは圧迫せず撮影した場合に比べ、少ない放射線でもの影がはっきり写り、的確な検診結果が得られます。

マンモグラフィで撮れる写真は、乳がん初期症状の石灰化や腫瘍等を写し出します。

X線の量はごくわずかで乳房だけの部分的なものです。骨髄への影響はありません。

ただし、妊娠中の方、妊娠の可能性のある方は、実施医療機関へご相談ください。

※このお知らせは、杉並区にお住まいの方で、平成20年4月1日～平成21年3月31日までに満年齢40歳以上にお送りしています。

この通知は、乳がん検診の受診率向上のためのご案内です

# マーケティング調査をもとに改善したメッセージ

杉並区からの重要なお知らせ

平成 21 年度

## 乳がん検診のお知らせ

ご存知でしたか？

乳がん検診（マンモグラフィ）を受けると、

**区役所から補助が出ることを。**

乳がん検診（マンモグラフィ）は精度の高いしっかりとした検診ですが、その分、高価な検診です。（約 11,000 円）

杉並区が主催する乳がん検診（マンモグラフィ）は

**約 10,000 円の補助が受けられますので  
自己負担額 1,000 円で受診して頂けます。**

杉並区では、区民の方に乳がん検診（マンモグラフィ）を受けて頂けるよう、サポートをいたします。

**ぜひ乳がん検診（マンモグラフィ）を受けて下さい。**

この通知は、乳がん検診の受診率向上のためのご案内です。

返信用はがきには必要事項を記入し、封筒に入れていただき、受診券がの手元に届きます（平成 21 年 5 月 31 日）。  
検診を希望されない方も、返信用はがきのご返送をお願いいたします。

# ポイント

- ・人は、自分の興味のある限られた情報しか目に入らない
- ・情報を整理してあげる必要

# 誰をターゲットとするかで、メッセージが変わる！

## ①無関心者 “知らないから、受けない”

「私大きな病気になったこともないし、健康だから、**乳がんにはかからない**。だから検診には行く必要ない。」(がんに関心な層)

## ②関心者 “知ってるけど、受けない”

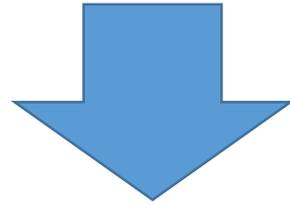
「乳がんは怖いけれど、マンモも不安だし、検診に行って**がんが見つかってしまうのはもっと怖い**。」(がんは怖いが見つけ出すのは不安な層)

## ③意図者 “いつか受けようと思ってる”

「乳がんも怖いし、検診には行かなければいけない。**どうやって受けるのか調べなきゃ**。」(すでに受けようと思っている層)

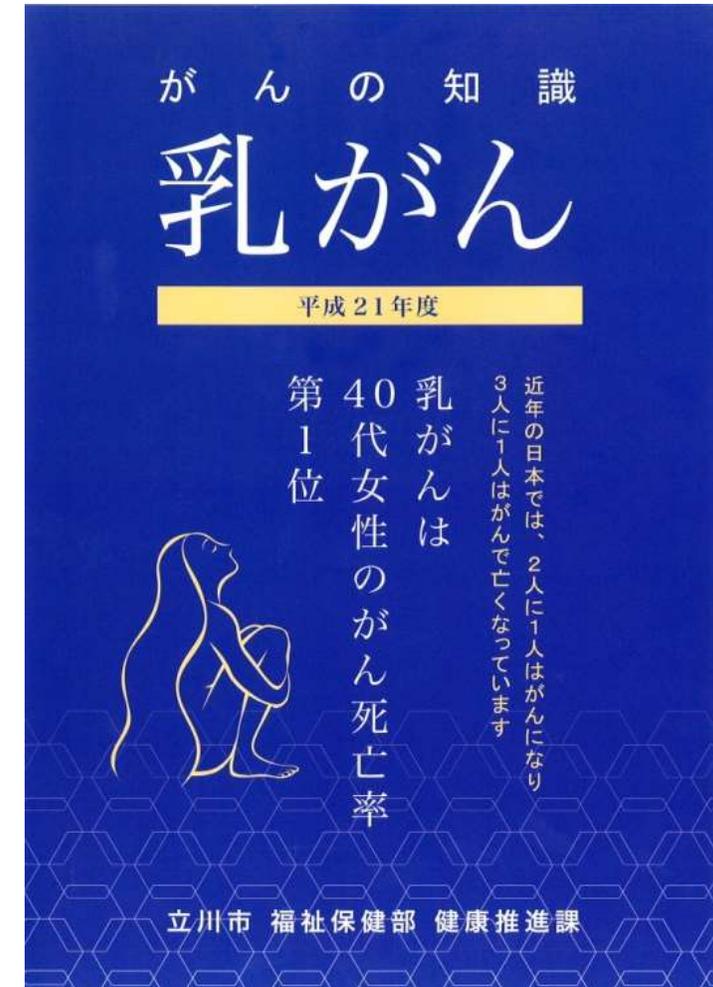
## ①無関心者

「私大きな病気になったこともないし、健康だから、乳がんにはかからない。だから検診には行く必要ない。」(がんに関心な層)



## がん罹患の重大性

東京都における医療保健政策区市町村包括補助事業「がん検診受診率向上事業」にて実施・出典 東京都「受けよう！がん検診」HP





### ③意図者

「乳がんも怖いし、検診には行かなければいけない。どうやって受けるのか調べなきゃ。」(すでに受けようと思っている層)



## わかりやすいがん検診受診の方法

受けてください  
**乳がん検診**  
命に関わる  
とても大切な検診です

日本人女性の20人に1人が乳がんに！

近年、日本人女性の20人に1人が乳がんにかかると言われています。乳がんは40歳の女性が最もかかりやすいがんです。

乳がんは40歳～50歳の女性の  
がん死亡率第1位

乳がんは転移すると致命的なことになるかねません。年間に1万人近くの日本人女性が乳がんを命を落としています。

早期のうちに治療すれば約90%治ります

がんが検診でみつかるほど大きくなり、そして早期がんから次の病期(ステージ)である1期に入るまでの期間は約2年弱であるため、早期で発見するためには2年に1度、検診を受けることが大切です。

**STEP1 検診までの準備**

**✉ 検診の申し込み**

はがきか封書で申し込みます。受診票が折り返し郵送で送られてきます。

申し込み締切：平成22年1月29日(金) 必着

記入事項：「乳がん検診申し込み」、氏名(フリガナ) 生年月日、住所、電話番号

送り先： 〒190-0011  
立川市健康推進課  
立川市高松町3-22-9 健康会館内

今年度の受診券やクーポン券がすでに手元にある方は申し込みの必要はありません。昨年度立川市の乳がん検診を受診した方は今年度は受診できません。

**+** 指定医療機関に予約の電話

受診票が届いたら、ご希望の市内指定医療機関に電話して検診の予約をします(指定医療機関は同封のリスト参照)。今年度の受診最終締め切りは平成22年3月31日です。

**☎ 042-各指定医療機関**

**STEP2 検診を受ける**

**📄 問診**  
自覚症状等についてお聞きします

**👉 視触診**  
医師が乳房を視触して、しこりがないか調べます

**📷 マンモグラフィ**  
マンモグラフィという装置を用いて、乳房をX線撮影します

**👉👉 自己触診法の指導**  
自己触診の方法を説明、指導します

**STEP3 結果の確認**

**📄** 後日、受診した医療機関に検査の結果を聞きに行きます

東京都における医療保健政策区市町村包括補助事業「がん検診受診率向上事業」にて実施・出典 東京都「受けよう！がん検診」HP

ターゲット(誰に)が違えば、そのニーズも違う！

ニーズが違えば、伝えたいメッセージ(何を)や伝え方(どうやって)も、おのずと異なってくる。

コール・リコール実施の際にターゲットニーズに合わせたメッセージを効果的に伝えることで、より高い効果が!!

# 大切なご紹介！

公衆衛生看護学では、Facebookを解説しています！  
外部講師を招致しての特別講義は公開授業となっています。  
ぜひ、お時間がありましたら、覗いてみて下さい！



# 参考文献

- CDCcommunityguide.

<http://www.thecommunityguide.org/cancer/screening/client-oriented/index.html>,(参照2016-06-28)

- 「平成25年度 市区町村におけるがん検診の実施状況調査」厚生労働省.<http://www.mhlw.go.jp/file.jsp?id=147922&name=000001>,(参照2016-06-28)

- 東京都における医療保健政策区市町村包括補助事業「がん検診受診率向上事業」にて実施・出典 東京都「受けよう！がん検診」HP.  
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/torikumi-kankei/jyushinnritu-houkokusyo/pdf/jyushinritukojyo-tebiki/>,(参照2016-06-28)

- 国立研究開発法人国立がん研究センター社会と健康研究センター.<http://prev.ncc.go.jp/>,(参照2016-06-28)